



オキタ社長の
イゴコチ
メイキング

Work Style Idea Book

若きオキタ社長の悩み？

晴れたウィークデーの午後。

ピーコ不動産のオフィスには

やわらかな陽射しが

ふりそそいでいます。

そこに、先月、先代の社長から

経営を任されたばかりの

オキタ社長の姿が見えます。

今日はなにやら

働く社員たちの様子を眺めて思案顔。

会社は歴史もあって

それなりの業績をあげているものの、

若き社長の目に映る社内の雰囲気は、

どこか物足りないようです。



若き
2代目経営者
オキタ社長



新入社員
シャイな性格
オトナシ君



勤続35年
大ベテラン
オオモリ部長



3年目の
伸び盛り社員
シカリさん



「会社の雰囲気を変えたい…」
漠然とした思いはあるものの、
何から手をつければいいのか？

長年いる社員の
ノウハウを共有
しつつ、若い社員の能力を
伸ばせないか…

社員は淡々と
働いているが、
今ひとつ**活気**が
感じられないなあ…

社員同士、もっと
お互いの思い
を伝えあえない
ものか…

どんどん新しいことに
チャレンジする
風土を作りたい…

いきなり大きく変えることは難しい。
それなら、まずは
自分たちでできること
から始めてみよう！

※ 無断転載、再配布、編集を禁止します。

ある日、オキタ社長の目にふと留まったのは新入社員のオトナシ君。
「みんなの顔と名前が覚えられなくて話しかけられない…」
そんな姿を見てオキタ社長はひらめきました。
「社内を明るくするにはまず、お互いを知ることが大切だ！」

会話や
コミュニケーション
が「少ない」。
明るい社風に
ならないのが…



顔と名前、一致する？ まずお互いを 良く知ることからスタート。

オオモリ部長って、
実は気さくかも。



ワッ
ワッ

あいさつリレー

毎週月曜日に一人がオフィス内を
まわりながら「おはようございます！」
と朝の挨拶。社員全員、リレー
形式でバトンタッチ。

〇HA!

45°

プラスの事例

「話したことのなかった
社員に親近感を抱く
きっかけになった」と
好評。



プロジェクト運営ここがポイント!

- メンバーとなった若手社員の仕事の負担にならず、
楽しみながら継続できる運営方法を目指しました。
- ・作業時間は週1回・2時間のみ
- ・会社公認のプロジェクトとし、活動も個人評価の対象項目に
- ・“企画”“広報”の2チームにわかれて役割分担
- ・上司に活動を理解してもらい、メンバーへ「いいね!」と声をかけてもらう

仲間の新たな一面を知るきっかけにもなり、
社員同士がお互いに興味を持ち始めました。

それから半年後…

step
01

オキタ社長の取り組み

『ワクワクプロジェクト』の発足

社内を明るくするためのプロジェクトをつくり、入
社3年目までの若手社員を集めました。ミッション
はズバリ「社内交流の活性化」。メンバーでアイデ
アを出し合い、イベントを企画・実施しました。

チー
ーズ!

写真展

長期休暇の後に写真を募集。
楽しかった思い出や綺麗な景色な
ど、社員が自分で撮影した
写真を社内で展示。

プラスの事例



壁面いっぱいに社員の思い出。



準備をしながらアイデアが続々。

シカリさんの趣味は
ダイビングか。

ア
ク
ティ
ブ!

物静かなオトナシくん、
意外にもロック好きとは!

ふむ!



シカリ



娘が嫁ぐ日
オオモリ

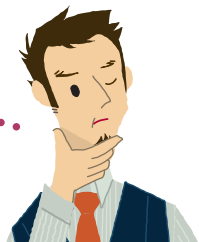


ライブに出ました

オトナシ

この日、オキタ社長が見かけたのは入社3年目のシカリさん。
「オオモリ部長に話しかけてみたいけど、タイミングが…」
そんな姿を見てオキタ社長は気付きました。
「コミュニケーションを取るには場所ときっかけが必要だ！」

もっと部門や
世代を超えた
交流を
増やしたい！



いい仕事は、いい雑談から。活気を生む、
部門や世代を超えたコミュニケーション。

step
02

オキタ社長の取り組み

【5 TSUBO CAFE】 の導入

社員が気軽に集まれるカフェを設置することに。
「使わないもの置き場」になってしまった倉庫を
整理し、ペーパーレス化も実施。空いたスペース
に、社員の憩いの場ができました。

今日って何の日か
知ってますか？

今度ライブ
やるんだって？
行く行く！

コーヒーに
ぴったりのおやつ、
見つけちゃいました！

私、シカリさんと同じ
北海道出身なんだよ！



【5 TSUBO CAFE】、ここがポイント！

「オフィスが狭い」「活用してもらえない」…社内のカフェスペース設置にまつわる不安が取り除けたことが【5 TSUBO CAFE】導入の決め手でした。

- 小さなスペースに設置できてコンパクト。内装工事也不要
- 人が集まる場と、会話を生むきっかけの両方を提供してくれる
- 実際にスペースが活用されているかの効果を“見える化”するサービスがある



実際の活用シーン



5 TSUBO CAFE のサイネージには、会話のきっかけになる多彩なコンテンツが映し出され、雑談に花を咲かせるお手伝いをしています。



仕事の合間にふらっと立ち寄って、コミュニケーションが取れる場所。気軽な情報交換によって、新しいアイデアのタネも生まれます。

会話する場所・きっかけ
ができたことで、部署間
だけでなく世代を超えた
交流も見られるよう
になりました。

2年後、オフィスの様子は
どうなったでしょうか？

【5 TSUBO CAFE】導入から2年。社員同士のアイデア交換も活発になり、様々な自主プロジェクトも発足して社員が主体的に働いています。
「社員の働き方も多様になってきたな…」
そんな時、オキタ社長は発見したのです。
「彼らの動きをよく見ると、いくつかのフルマイに分けられる！」

だいぶ
コミュニケーションは
取れているな。では、
オフィスの形はこれで
いいのだろうか？



たくさん動いて、たくさん話そう。
さまざまな働き方を活かせるオフィスへ。

step
03

オキタ社長の取り組み

オフィスを リニューアル

席が固定化した従来のオフィスから、社員の「フルマイ」に対応したオフィスにリニューアル。個々に合ったスタイルで働けて、さらに創造性を発揮できる環境を整えました。

フルマイ 1 ふらっと留まる

「会議の合間などの
すきま時間を有効に使える」
「ちょっとした気分転換に
ぴったり」



フルマイ 4 じっくり集中する

「限られた時間で
しっかり考えをまとめられる」



フルマイ 2 わいわい討議する

「自然体で自由なアイデアが
出しやすい」



フルマイ 5 さくっと共有する

「軽い打合せを効率よくできる」



フルマイ 3 てきぱき作業する

「手作業だけに没頭できる」
「手を動かしながらアイデア
の共有ができる」



フルマイ 6 ゆったり熟考する

「自分ならではのアイデアが
広がる」



オフィスをリニューアルしたことで、
どのような変化が起こったのでしょうか？



自分自身で、 働く場所を選ぶ

仕事の内容や気分に合わせて、
社員自らが働く場所を選ぶ。新しい
オフィスの形。
社内を自由に歩き回ること、
いつもの席といつもの会議室の
往復では生まれない、新しい発見と
出会えます。

働き方はひとつじゃない。 人が“人として”仕事をするために。

今日も、大きな窓の外には澄んだ青空。

その日の仕事内容や

気分に合わせて場所を選択し、

誰もが心地よく仕事をしています。

自分のデスクを離れて

ソファ席で仕事をする姿も

カフェでくつろぎながら

コミュニケーションをとる姿も、

今ではすっかり当たり前。

オキタ社長はコーヒー片手に

社員の様子を眺めました。

「“会社の雰囲気を変えたい”

という気持ちで小さな一歩から始めたが、

それは社員の働き方の変革にまで

つながっていたようだ…」

今年度、ピーコ不動産は創業以来、

最大の伸長率を達成する見込みです。

「人間の役割が機械に置きかわっていく世の中で、

『人が人として仕事をする』こそが大切なんだな。」



PLUS